



ADRC Highlights

Vol.124

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

16 September 2005

▶ アジア防災センターがモルディブの早期警報システム調査を実施

2005年6月17日から7月1日にかけて栗田主任研究員を代表とする調査団が、UNDP モルディブの要請により、モルディブ国の早期警報システム調査を実施しました。

本調査の目的は、以下の通りです。

- (1)早期警報システムに関する関係省庁の現状を調査すること。
- (2)現状の早期警報システムの問題点を抽出すること。
- (3)モルディブにおける早期警報システムの有効性を高めるために必要な取り組みおよび資源/資材を提言すること。

モルディブは独特な地勢を有する国です。例えば、数千にもおよぶ島々から構成され、その内、およそ200の島に住民が居住しています。標高の最も高い所でも1.3メートルで、平坦な低地国です。したがって、早期警報システムもこれらの特徴に適合した形で設計されなくてはなりません。

調査団は15の省庁・関係機関を訪問し、ヒアリングを行いました。また、効率的なシステム構築を提言するため、人々の津波や防災に関する意識を調べるアンケート調査を実施しました。本調査では、住民から1,061、行政官からは182の標本を収集し



ました。

8月29日には、首都マレにおいてナショナル・ワークショップを開催し、調査団によって調査結果が報告されました。各省庁、国連、赤十字社などからの参加者からは、早期警報システムや防災に関する意見が述べられました。

なお、この件に関しましては、栗田 (kurita@adrc.or.jp)までお願いします。

▶ ADRC 客員研究員レポート □ マリア・ゴー研究員(フィリピン)

私が防災に興味を持ったのは、小学生の時で、ミンダナオで発生した津波災害へのボランティア活

動を行った時でした。多くの人々が家を失った光景や、食べ物や家が海の上に浮いているのを見て、強い衝撃を受けました。

その後、私は長年マーケティングの仕事に関わってきましたが、1997年に内務自治省(DILG)下にある地方自治開発局に入局し、国家災害調整委員会・技術管理グループ(NDCC-TMG)で、DILGの代表を務めました。



DILGは、郡、市、町、地域レベルでの地方災害調整委員会の編成やその機能を監督し、開発計画における地方政府のための指針を作成する責務を負っています。私の担当は、国家災害調整委員会・技術管理グループのメンバーと協力して、政策及びプログラムの開発、トレーニング管理、モジュール開発を行うことです。

フィリピンは、地理的に、台風の通過ルートとユーラシアプレートと太平洋プレートの間にある環太平洋火山帯に位置することから、洪水、地滑り、竜巻、地震、津波といったあらゆる自然災害による被害を受けやすい国であるといえます。また、海難事故、紛争、ごみ山の崩落、疫病といった人為的災害もあります。災害は、救援や再建のための活動に何十億ベソも支出させ、何年にもわたる政府の開発努力を損なう力を持っています。しかし、自然災害は、フィリピン人の生活の一部であります。だからこそ、私たちは、自然災害との共存方法について学ばなければなりません。

ハザードによる影響を軽減するために、大統領命令1566が1978年6月11日に発布され、政策策定・調整・監視機関として、国家レベルにおける最高の権限をもつNDCCが設置されました。その目的は、フィリピンにおける災害管理能力の強化や、災害への備えのための国家プログラムの創設です。NDCCには、NGOや学界に加え、国家機関の全ての長で構成されています。この法律はまた、地域災害調整委員会や地方災害調整委員会を、郡、市、町、地域レベルで設置することを想定しています。

防災の分野では、他の体験から学ぶことがとても大切です。私は、当センターの客員研究員として2005年7月に来日して12月まで滞在する予定ですが、日本やADRCメンバー国における多様な防災アプローチについての知識や技術を更に習得し、地域間での防災協力を促進したいと思っております。また帰国後は、それを母国に貢献したいと考えております。

If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by: [Asian Disaster Reduction Center \(ADRC\)](http://www.adrc.or.jp)
[Hitomiraikan 1-5-2-5F, WAKIHAMAKAIGAN-DORI, CHUO-KU, KOBE](http://www.adrc.or.jp)
651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone: +81-78-262-5540